

厚別区誕生
30周年記念

VR ドームムービー セレクション プラネタリウムライブ 2019

プラネタリウムが織りなす
映像と音の圧倒的新体験
あの大人気イベントが今年も開催!!

VR DOME MOVIE SELECTION

and PLANETARIUM LIVE 2019

VR DOME MOVIE



「Intensional Particle Dome Installation」
梅田 宏明



「残像花」
馬場 ふさこ



「懐中銀河」
Aono.Y

PLANETARIUM LIVE



laufen

スペシャルコラボレーション
北星学園大学アカベラサークル
ぼらりす。



木箱

スペシャルコラボレーション
映像クリエイター
岡本和之

RAKUGO



「厚別乃噺」
新捨亭御免

DATE

2019年10月19日[土] ▶ 20日[日]

[開場] 18:30 / [開演] 19:00

VENUE

札幌市青少年科学館 1階プラネタリウム

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20

TICKET

前売券 当日券 **¥2000**

チケット好評発売中!

前売券取り扱い先

○チケットぴあ/Pコード: 160-189 ○札幌市青少年科学館窓口
○セブンイレブン ○チケットぴあのお店(札幌市内コーチャンフォーなど)

※前売券・当日券ともに同料金 ※大人・子供一律 ※前売りチケットが完売の場合、当日券の販売はありません ※未就学児不可、中学生以下要保護者同伴(中学生以下も有料)

<お問い合わせ先>

札幌市青少年科学館 天文係直通
TEL 011-892-5004

[主催] 札幌市厚別区、札幌市青少年科学館

[共催] No Maps実行委員会

[協力] 国際科学映像祭、株式会社オリハルコンテクノロジーズ

<NoMapsウェブサイト内イベントページ>

<https://no-maps.jp/program/other/vrdome2019>



2017年の初開催以降、チケット売切れ続出の大好評イベント。今年は札幌市青少年科学館が位置する厚別区の誕生30周年を祝う記念公演です！
 プラネタリウムを会場として、没入感あふれる刺激的な体験をお届け！個性的なフルドーム映像作品のオムニバス上映や、札幌・北海道のアーティスト達による
 スペシャルライブ、さらに今年は厚別区30年の歴史を振り返る落語も登場！ここでしか体験できない、特別な夜をお楽しみください。

VR DOME MOVIE

VRドームムービー

作品名:
**Intensional Particle
 Dome Installation**

作者: 梅田 宏明

上映時間
7分



Photo: S20

遠目には安定した形状を保つように見える滝や川のような存在も、微視的にフォーカスすれば、実は、うねり、波うち、渦巻き、逆流といった不断の流動の繰り返しで形成されている。こうした考えに則り本作で梅田は、パーティクルを「静的な粒子」としてでなく「動的な質点」として捉え、その質点が密かに宿す「インテンショナルな(内包する)フォース」を空間に可視化する。ダンス作品として制作された「Intensional Particle」のドーム型映像作品。

ディレクション: 梅田宏明 サウンドデザイン: S20
 映像編集: Guillaume Gravier ビジュアルリサーチ: Ludovic Burczykowski
 イメージプログラミング: Shoya Dozono 製作: S20
 共同製作: S20, as part of Mons 2015, European Capital of Culture - Digital projects

作品名:

残像花

作者: 馬場 ふさこ

上映時間
11分



映像と音楽が光の像と音の像として作られたイメージの世界。それは残像の花の咲く非在の庭の光景です。そこに咲く花は光と振動から生まれ、触れることもできず、いつもそこにとどまっているものでもありません。流れる時間は日常の時間とは異なり、「像としての花」がつくり出す特有の時間。誰にも知られることのない脳内の秘密の小道を抜けてたどり着く不思議な空間・実態のない庭に咲く花です。

音楽: 宮木朝子

作品名:

懐中銀河

作者: Aono.Y

上映時間
6分



宇宙と、それにまつわる科学をテーマにした全天周のミュージックビデオです。見上げればそこにある星空から、光の届かない深遠まで。大小様々な「夢」を受け止めてくれる宇宙に思いを馳せて頂けたらと思います。

作詞・作曲: yukkedomu
 CG Artwork by Aono.Y
 ©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net **piapro**

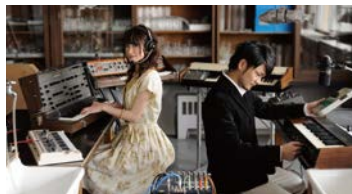
PLANETARIUM LIVE プラネタリウムライブ

19日 laufen



ボーカル・Cukaと、サウンドプロデューサー・克による音楽プロジェクト。ジャンルの壁を超えて作り出される楽曲は様々な表情を見せ、Cukaの故郷である世界遺産知床の雄大な自然や、四季を感じさせる歌も大きな特徴であり、近年はより普遍的なメロディや北海道ならではのサウンドを意識した音楽を作り上げる。10月17日発売のNintendo Switch用ゲームソフト「牧場物語 再会のミネラルタウン」のイメージソングを担当。オホーツク観光大使、コアップガラナ広報大使としても活動中。Cukaはライター、克はフォトグラファーとしての顔も持ち、SNSでの発信力を活かして自身の音楽と共に北海道の魅力を伝える活動を展開している。

20日 木箱



SAyA (Vocal Synthesizer)
 西村サシ (Programming Guitar)
 札幌在住。2004年に結成されたエレクトロニカユニット。2010年11月、VictorBabeStarRecordsからメジャーデビュー。温かみを感じさせる有機的なトラックにSAyAの透明度の高い声が含まり独自の世界観を放っている。サウンドエンジニアとしても活動中の西村はサカナクションの1st, 2ndアルバムを手掛けた経歴もある。ライブでは空間演出にも力を入れており、インタラクティブ作品との融合を図ったプラネタリウムでのライブや、森でのキャンドルライブ、美術作品などの装飾を取り入れたライブなども開催。札幌市青少年科学館でのプラネタリウムライブ出演は今回で4回目となる。2012年4月、自主レーベル「kitorina records」を立ち上げ、アルバム「hometown」をリリース。2018年12月、宇宙をテーマとした6thアルバム「[Orb]」をリリース。2019年5月、初の海外ツアー。台湾(台北、新竹、苗栗)とタイ(バンコク)にて公演。

19日 スペシャルコラボレーション
北星学園大学アカペラサークルいばりす。

総数104名を誇る、北星学園大学でも最大規模のサークル。サークルの中でも、アップテンポな曲を歌うグループ、バラードを歌うグループ、洋楽を歌うグループなど様々なグループが所属している。《楽しみ、楽しませる》をモットーに、日々学内外問わず様々な場所で活動中。札幌市青少年科学館でのプラネタリウムライブは今回が初参加となる。

20日 スペシャルコラボレーション
岡本和之

1965年生まれ。音更町出身。主に十勝でインタラクティブ映像製作・展示を行なっている。



RAKUGO

落語



斬捨亭御免
 「厚別乃噺」

札幌市出身。大学へ入ると同時に落語研究会に所属し落語を始める。在学中は福祉施設や地域の町内会などの依頼を受け出張落語を披露していた。卒業後も札幌市内を中心に落語公演を行っている。年に2、3回、自主開催、他団体主催の落語会に出演。素人落語集団「のら」主催。そのほかにカフェ、レストラン、小学校などでも落語を披露。また役者としても活動し、今年は札幌演劇シーズン2019「青森県のせむし男」に出演。